



10月になりました

日によっては、まだ暑い時間帯もありますが、真夏の暑さではなくなってきたようです。長袖の体操服を着ている子供たちも目に付くようになりました。これまで長休みと昼休み前には、熱中症情報として「体育館は注意のレベル、グラウンドは警戒のレベルです。十分に水分をとって遊びましょう」「体力に自信がない人は校舎内で遊びましょ



う」・・・等、子供たちに校内放送で注意喚起のお知らせをしてきましたが、そろそろその必要もなくなってくるかもしれません。これからは放送がかからなくても、適時、水分を補給したり、自分で体育館の熱中症指数計を見たりして、体調管理をしてほしいと思います。

ただ例年よりも暑いことは間違いありません。去年は10月になるとともに、衣替えの移行期間とし、学習発表会が終わった頃に衣替えとしていました。今年は少し遅らせるか、長めの移行期間を設けます。詳細は、後日、お便りにてお知らせします。

学習発表会に向けて（その2）

～結果は大事、それ以上に過程が大事～

2年教室へ向かう途中の廊下に掲示コーナーがあります。そこには、『2年生 学しゅうはっぴょう会までのみちのり』と題して、“学級ごとの目標”や“学習発表会を通してどんな自分になりたいか”が書かれています。1組は「見ている人から『かっこいい!』と言われる発表にする」、2組は「見ている人から『すごい!』と言われる発表にする」、3組は「みんなで力を合わせる発表会にする」が目標です。そして、そのためには「仲間と心をつなげて発表する自分」「大きい声で音楽に合わせて発表できる自分」「最後までみんなで頑張る自分」であることが大事だと考えているようです。また、2学期になってからの練習の過程が写真とキャプションで表されています。「9/1 教室でダンス・覚えている人が増えてきたね」「9/8 初めてのセリフ読み合わせ・学年みんなの中で一人一人が声を出してみたよ」「9/13 体育館で練習・演奏の音や歌声がバラバラになってしまったね」「9/15 劇の流れが分かってきたね」「9/19 ダンスは覚えたよ・隊形移動の練習もしたね」・・・。ちょうどタイミングよく、体育館



から担任の大きな声が聞こえてきました。「うん、いい！今のは、とてもよかったよ」「もっと、手を伸ばして大きく動いたら、かっこいいよ」・・・担任も、学習発表会に向けて真剣です。今回は2年生を例に挙げましたが、他にステージ発表をする4年生・6年生、作品発表をする1年生・3年生・5年生も、それぞれ頑張っています。

今週には、管理職に観てもらおう日（練習の様子は、毎日のように観ているので無くてもよいのですが、きまりなので一応観ます）、来週には全校児童に観てもらおうA発表の日、そして、保護者や地域の方に観てもらおう本番があります。それまで「目標を立てる➡やってみる➡目標に立ち戻って振り返る➡修正点を考えて、またやってみる」の繰り返しです。保護者の皆様には、学習発表会当日の練習の成果（結果）を見ていただくこととなりますが、練習の過程にこそ、各学年、一人一人に、葛藤あり満足感あり、いろいろなドラマがあります。私は、結果はもちろん大事ですが、それよりも過程が大事だと思います。保護者の皆様からもお子さんに、学習発表会に向けて今何をしているか？どんな気持ちか？と聞いたり、頑張ろうと思える声かけをしたりしてあげてください。

専門家の指導を仰ぐ（陸上競技編）

9月29日（金）、ふくのジュニア陸上クラブから4名の講師の方にご来校いただき、3年生と6年生が学級ごとに1時間ずつハードルの指導をしてもらいました。3年生は体育館でミニハードルを使って、テンポよく障害物をまたぎ越す感覚を身に付けることを中心に、6年生はグラウンドで実際のハードルを使って学習しました。授業を終えた子供たちからは、「楽しかった」「ハードルを跳ぶのではなく、またぎ越すイメージが分かった」という感想を聞きました。これをきっかけに、運動に興味をもつ子供が増えてくれれば幸いです。また、指導に参加した教員も「指導のコツが分かった」「指導の仕方をビデオに撮ったので他の教員にも見せたい」と言っていました。



4月にお示しした学校運営方針にも書きましたが、「新学習指導要領への対応」「プログラミング」「特別支援教育」「がん教育」「防災教育」「ネット犯罪」「薬害防止」・・・等、学校の教員も一生懸命勉強し対応しようとしているのですが、何でもかんでも学校だけでできるものではありません。任せられる内容は、専門家に任せ、子供にとって有意義な活動になるようにしたい。また、その指導の仕方を教員が共有することで、教員のスキルアップにつなげたいと考えています。

今回は、陸上競技・ハードルの指導をお願いしましたが、今後も、専門家のご都合があえば、また、学校教育にとって利があると考えれば、このような機会をどんどん増やしたいと思います。そして、「〇年生の〇月は〇〇〇に〇〇〇の指導をしてもらう」というふうに年間指導計画に位置付いた活動にしていきたいと考えます。

（校長 曲 師 政 隆）